

令和3年度
区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査
〔18歳以上の区民の方が対象〕
〔中学生以上の区民の方が対象〕

【報告書】

令和4年2月
大田区

目次

I	調査の概要	6
1	調査の目的	7
2	調査の内容	7
3	調査の設計	8
4	報告書の見方について	9
5	標本誤差について	9
II	18歳以上の区民の方が対象 ～暮らし・保健・環境の分野など～	10
1	回答者の属性について	12
2	各種認知度について	19
(1)	「ワーク・ライフ・バランス」の認知度	19
(2)	「エセナおおた」の認知度	21
(3)	「女性のためのたんぽぽ相談」の認知度	23
(4)	「大田区DV相談ダイヤル」の認知度	25
(5)	「成年後見制度」の認知度	27
(6)	「大田区立消費者生活センター」の認知度	29
(7)	外国語で生活相談ができる「多言語相談窓口」の認知度	31
(8)	「ヘルプカード」の認知度	33
(9)	「障害者差別解消法」の認知度	35
(10)	「社会的包摂」の認知度	37
3	生涯学習について	39
(1)	最近1年間の生涯学習の活動及び今後行いたい活動	39
(2)	生涯学習の活動場所	44
(3)	生涯学習で身に付けた知識・技能・経験を活かしていること	46
(4)	生涯学習の状況	49
4	スポーツ・運動について	50
(1)	この1年間に実施したスポーツ・運動	50
(2)	この1年間のスポーツ・運動の活動頻度	53
(3)	東京2020大会による意識の変化	55
5	文化・芸術について	58
(1)	大田区の文化・芸術で思い浮かぶもの	58
6	観光について	61
(1)	友人・知人に勧めたい大田区の観光資源	61
7	普段の生活について	63
(1)	普段の生活の状況	63
8	地域活動について	74
(1)	ボランティア活動への参加状況	74
(2)	地域活動における新型コロナウイルス感染症の影響	76
(3)	近所の方への手助けとしてできること	77

9	健康づくりについて	80
	(1) 「はねびょん健康ポイント」の認知度	80
10	喫煙について	82
	(1) 喫煙状況	82
	(2) 喫煙の際に気をつけていること	84
	(3) 受動喫煙を経験した場所	86
	(4) 大田区が推進すべき、受動喫煙防止に向けた取組	88
11	医療について	91
	(1) かかりつけの医療機関	91
	(2) 「在宅医療」の認知度	93
12	災害時について	95
	(1) 災害時の緊急医療開設場所の認知度	95
13	食品ロス・フードドライブについて	97
	(1) 「食品ロス」の認知度	97
	(2) 「食品ロス」を減らすための取組	99
	(3) 「食品ロス」の削減に取り組む店舗の利用意向	102
	(4) 「フードドライブ」への提供意向	104
14	環境問題について	106
	(1) 地球温暖化の問題意識	106
Ⅲ	18歳以上の区民の方が対象 ～ デジタル化・まちづくり・住まいの分野など ～	108
1	回答者の属性について	110
2	デジタル化について	117
	(1) 区民サービスのデジタル化への希望	117
	(2) オンライン化を希望する行政手続き	119
	(3) 「地域社会のデジタル化」への希望	121
3	商店街について	123
	(1) 普段の買い物で利用する業態及び理由	123
	(2) 買い物をする時間帯	126
	(3) 商店街への印象	128
	(4) 商店街に必要なと思う施設等	130
4	キャッシュレスについて	132
	(1) キャッシュレスでの支払い	132
	(2) キャッシュレスの支払いで利用している手段	134
	(3) キャッシュレスで支払いをする理由	136
	(4) キャッシュレスで支払いをしない理由	139
	(5) 今後、活用したいキャッシュレスでの支払いの手段	141
5	まちづくりについて	143
	(1) 活力・国際性のある都市づくりの進捗状況	143
	(2) 暮らしやすい都市づくりの進捗状況	145
	(3) 安全・安心な都市づくりの進捗状況	147
	(4) 環境に配慮した都市づくりの進捗状況	149

6	公共交通機関について	151
	(1) 公共交通機関の環境	151
	(2) 大田区内の公共交通網への満足度	153
	(3) 早期に実現してほしい大田区内の公共交通対策	155
7	空港臨海部について	158
	(1) 空港臨海部へのアクセス	158
	(2) 空港臨海部の魅力度	160
8	羽田空港跡地について	162
	(1) 「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」を認知したきっかけ	162
	(2) 「羽田イノベーションシティ」の認知度	164
	(3) 「羽田イノベーションシティ」において興味があるもの	166
	(4) 「羽田空港跡地第1ゾーンの公園整備」の認知度	168
	(5) 整備される公園でいたいこと	170
	(6) 「ソラムナード羽田緑地」の利用状況	172
	(7) 「ソラムナード羽田緑地」でいたいこと	174
9	耐震改修について	176
	(1) 住まいや所有建築物の耐震改修の状況	176
	(2) 耐震改修を行っていない理由	178
10	空家について	181
	(1) 自宅周辺の空家の状況	181
	(2) 空家によるトラブルや不都合	183
11	移住について	185
	(1) 自身の出身地	185
	(2) 東京都外への移住意向	188
	(3) 移住を考えるようになったきっかけ	191
	(4) 移住先での住まい	194
	(5) 移住したいと思う理由	197
IV	中学生以上の区民の方が対象 ～ 防災の分野・自転車の利用についてなど ～	200
1	回答者の属性について	202
2	相談窓口について	209
	(1) 大田区役所や区立施設等におけるバリアフリーや案内表示	209
3	バリアフリー・ユニバーサルデザインについて	211
	(1) 「バリアフリー」の認知度	211
	(2) 「ユニバーサルデザイン」の認知度	214
4	新型コロナウイルスワクチン接種について	216
	(1) 新型コロナウイルスワクチンの接種状況	216
5	災害時の避難等について	219
	(1) 「大田区防災アプリ」の認知度	219
	(2) 「大田区防災ポータルサイト」の認知度	221
	(3) 災害時の避難先の決定状況	223
	(4) 災害時の避難先	225

(5) 「マイ・タイムライン」の作成状況.....	227
(6) 「マイ・タイムライン」の作成方法.....	229
(7) 令和3年9月12日、情報伝達訓練として区から避難情報を発信したことの認知度..	230
(8) 災害から自身を守るための取組.....	233
(9) 防災に関する情報の収集方法.....	235
(10) 警戒レベルに応じた避難行動の認知度.....	237
6 図書館について.....	239
(1) 図書館等の利用頻度.....	239
(2) 図書館で主に利用する機能・サービス.....	241
(3) 図書館を利用しない理由.....	243
(4) 図書館に期待する機能・サービス.....	245
7 自然環境について.....	247
(1) 「コアジサシ」の認知度.....	247
(2) 「アオスジアゲハ」を見たこと.....	249
8 自転車の利用について.....	251
(1) 「コミュニティサイクル」の認知度.....	251
(2) 歩行時等における自転車に対する危機感.....	253
(3) 自転車の利用状況.....	255
(4) 自転車の盗難被害の有無.....	257
(5) 自転車の施錠状況.....	259
(6) 自転車を施錠しないときの状況.....	261
(7) 区営駐輪場で不便に感じていること.....	262
(8) サイクリングやサイクルスポーツの実施状況.....	264
(9) 守れていないと思う交通ルール.....	266
(10) 「自転車等放置禁止区域」の認知度.....	269
(11) 「自転車ナビマーク・ナビライン」の認知度.....	271
(12) 損害賠償保険への加入状況.....	273
(13) 損害賠償保険に加入していない理由.....	276
V 資料編 ～ 使用した調査票 ～.....	278

I 調査の概要

1 調査の目的

各種計画に掲げる施策の検証や、より効果的な政策立案に資することを目的とし、区内在住の区民を対象とした意識調査を実施する。

2 調査の内容

18歳以上の区民の方が対象 ～暮らし・保健・環境の分野など～

- | | |
|-----------------|-----------------------|
| (1) 回答者の属性について | (8) 地域活動について |
| (2) 各種認知度について | (9) 健康づくりについて |
| (3) 生涯学習について | (10) 喫煙について |
| (4) スポーツ・運動について | (11) 医療について |
| (5) 文化・芸術について | (12) 災害時について |
| (6) 観光について | (13) 食品ロス・フードドライブについて |
| (7) 普段の生活について | (14) 環境問題について |

18歳以上の区民の方が対象 ～デジタル化・まちづくり・住まいの分野など～

- | | |
|-----------------|----------------|
| (1) 回答者の属性について | (7) 空港臨海部について |
| (2) デジタル化について | (8) 羽田空港跡地について |
| (3) 商店街について | (9) 耐震改修について |
| (4) キャッシュレスについて | (10) 空家について |
| (5) まちづくりについて | (11) 移住について |
| (6) 公共交通機関について | |

中学生以上の区民の方が対象 ～防災の分野・自転車の利用についてなど～

- | | |
|---------------------------|-----------------|
| (1) 回答者の属性について | (5) 災害時の避難等について |
| (2) 相談窓口について | (6) 図書館について |
| (3) バリアフリー・ユニバーサルデザインについて | (7) 自然環境について |
| (4) 新型コロナウイルスワクチン接種について | (8) 自転車の利用について |

3 調査の設計

調査地域	大田区全域
調査対象	[18歳以上の区民の方が対象] 大田区内に居住する満18歳以上の男女個人（外国人を含む） [中学生以上の区民の方が対象] 大田区内に居住する満12歳以上の男女個人（外国人を含む）
標本数	[18歳以上の区民の方が対象] ～暮らし・保健・環境の分野など～：2,000人 [18歳以上の区民の方が対象] ～デジタル化・まちづくり・住まいの分野など～：2,000人 [中学生以上の区民の方が対象] ～防災の分野・自転車の利用についてなど～：2,000人
抽出方法	層化無作為抽出法
調査方法	配布は郵送方式、回答収集は郵送又は電子申請方式
調査期間	令和3年11月10日～令和3年12月6日
有効回収数	[18歳以上の区民の方が対象] ～暮らし・保健・環境の分野など～：785件 (郵送569件+電子申請216件) [18歳以上の区民の方が対象] ～デジタル化・まちづくり・住まいの分野など～：837件 (郵送577件+電子申請260件) [中学生以上の区民の方が対象] ～防災の分野・自転車の利用についてなど～：863件 (郵送615件+電子申請248件)
有効回収率	[18歳以上の区民の方が対象] ～暮らし・保健・環境の分野など～：39.3% [18歳以上の区民の方が対象] ～デジタル化・まちづくり・住まいの分野など～：41.9% [中学生以上の区民の方が対象] ～防災の分野・自転車の利用についてなど～：43.2%

4 報告書の見方について

- (1) 図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表している。
- (2) 調査結果の比率は、その設問の回答者数を母数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しているため、その合計値が100%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の設問は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- (4) 属性別クロス集計等は、無回答を除いているため、回答者の合計が全体と一致しない場合がある。
- (5) 年代別は、男女ともに「18～19歳(12～19歳)」の回答者数が少数であるため、「10・20代」とまとめて集計及び掲載している。
- (6) n=30未満は、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。
- (7) 図表及び文章中では、選択肢を一部省略している場合がある。

5 標本誤差について

今回のような調査対象(母集団)の中から一部を抽出して行う標本調査では、全数調査(全ての人を調査)と比べ、調査結果に差が生じることがある。その誤差を標本誤差という。

標本誤差は、95%の信頼度で以下の式から得られる数値であり、真の値(全数調査をした場合に得られる数値)は標本調査で得られた結果に、この標本誤差を引いた値と加えた値の範囲内にあることとなる。

$$\text{標準誤差} = \pm 2 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N : 母集団の大きさ
n : 回答者数
p : 回答の比率 (%)

【各調査回答率における標本誤差早見表(信頼度95%で算出している)】

回答の比率 (p) 回答者数(n)	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
1,000	± 1.9%	± 2.5%	± 2.8%	± 3.0%	± 3.1%
863	± 2.0%	± 2.7%	± 3.1%	± 3.3%	± 3.3%
837	± 2.0%	± 2.7%	± 3.1%	± 3.3%	± 3.4%
785	± 2.1%	± 2.8%	± 3.2%	± 3.4%	± 3.5%
500	± 2.6%	± 3.5%	± 4.0%	± 4.3%	± 4.4%

早見表の見方

たとえば、今回の「18歳以上の区民の方が対象～暮らし・保健・環境の分野など～」の回答者数(785人)を100%とする比率で、ある質問の回答が50%であった場合、大田区民(区内在住の18歳以上の方)のこの質問に対する回答は、46.5%～53.5%の間にあると考えられる。